

新高通信



第38号

秋田県立新屋高等学校

1年を振り返って

校長 高安 暢



特に大きな事故もなく、順調にこの1年を終えられそうです。

3年生の進路も、数名の国公立大の結果を残し、ほとんど決定しました。28名の就職希望者の全員内定は、4年連続となりました。また、国公立大17名をはじめとする、

多くの進学希望者の進学先が決定しました。今年度の3年生の特徴は、6月の総体以後の受験対策への切替がうまくいったことと、補習への参加状況が非常に良かったことが挙げられます。1・2年生もこれに続いてもらいたいと思います。

さて、いよいよ来る平成26年度は、本校創立30周年の記念の年です。今まで30年間の道筋をしっかりと確認し、これからの新屋高校の将来を展望する1年にしてもらいたいと思います。

離任・退任される先生方

これまで、ご指導ありがとうございました。

- 高安 暢 校長先生 (御退職)
- 猪股和子 教頭先生 (御所野学院高校校長へ)
- 石川真人 先生 (本荘高へ)
- 片岡陽子 先生 (秋田中央高へ)
- 福原知恵 先生 (聖霊女子短大付属高へ復帰)
- 石川和良 先生 (男鹿海洋高へ)
- 鷲谷結子 先生 (由利高へ)
- 佐藤堯迪 先生 (秋田北鷹高へ)
- 新山信征 事務長補佐 (秋田南高へ)
- 大塚美穂子 主査 (天王みどり学園へ)
- 永井繁美 技能主任 (秋田きらり支援学校へ)

進路決定状況③

卒業生に対する大学・短大への進学予定者は106名(54.1%)で、昨年同時期の109名(55.6%)よりも4名(1.5%)減少しました。

4年制大学は74名と昨年92名から減少しました。このうち、国公立大学は17名、私立大学は57名となっています。国公立大学については、A・O・推薦Ⅰなどセンター試験を利用しない入試の合格は10名でした。また、センター試験を利用した合格は、推薦Ⅱ2名、前期日程3名、後期日程1名、C日程1名の計7名となりました。

就職内定者(公務員を含む)は31名で、うち県内24名、県外7名でした。

進路志望状況と決定状況 []内は未決定者数

3月24日 現在

進路状況	合計	国公立大	私大	短大	専門校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生 2月志望	198	62	32	22	46	11	9	11	2	3
2年生 2月志望	197	61	40	16	45	8	13	8	5	1
3年生 2月志望	195	26	58	30	49	[1]	28	3	0	0
3年生 決定状況 (昨年同期)	193 (183)	17 (17)	57 (75)	32 (17)	50 (60)	[6] ([12])	28 (9)	3 (5)	0 (0)	0 ([1])

後期校内研修報告

研修部主任 戸坂昌成

10月18日(金)に本校と秋田西中学校を会場に中高学習指導研究協議会が開催されました。「よりよく生きる力を支える確かな学力の育成を目指して～中高をつなぐ学習指導の在り方～」をテーマに、中高それぞれ5教科の研究授業と教科ごとの分科会、全体会が実施され、中央地区の中高の教員の他、指導助言者として秋田大学の先生方などにもご参加いただきました。当日の有意義な協議だけでなく、事前の準備の中も含めて、中学校と連携するよい機会になりました。この他にも、11月中旬には後期の互見授業、12月20日(金)には学校訪問報告会、2月19日(水)には10年経過研修報告など、折に触れ職員の資質向上を目指し研修を実施しました。

なお、これら1年間の研修については、「研修集録」にまとめ3月下旬に発行する予定です。

学校保健委員会報告

養護教諭 坂田 奈々

10月22日(木)学校医の3名の先生方に御出席いただき平成25年度学校保健委員会が開催され、本校生徒の健康について話し合いました。

内科医の木村先生からは、インフルエンザの動向と予防には手洗い・うがいや予防接種、部屋の加湿が有効であること、眼科医の松戸先生からは中・高校生のコンタクトレンズの手入れ不足によるトラブルが増加していること、歯科医の杉田先生からは若いうちから規則正しい生活とよく噛むこと、細かいところまで丁寧に歯磨きをすることが将来歯を失わないことにつながる等、指導助言をいただきました。生徒の健康維持・管理に役立てたいと思います。

進路指導主事 石井啓之

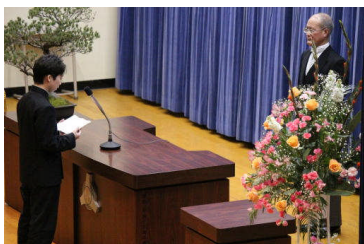


表彰式・記念品贈呈式・同窓会入会式

卒業式前日の2月28日(金)、皆勤賞13名、特別活動賞41名、献血功労賞6名に対する表彰が行われました。また、記念品贈呈式および同窓会入会式も行われ、学校や同窓会との絆を再確認した3年生たちでした。クラス幹事や部活動代表の生徒たちは、今後同窓会の先輩と連携し、OB・OGとして活動の中心的役割を担うこととなります。

卒業証書授与式

第28回卒業証書授与式が、3月1日(土)午前10時30分から第一体育館において挙行され、196名の卒業生が学び舎を巣立ちました。代表の佐藤友紀さんが卒業証書を授与されると、続いて、校長式辞があり、来賓祝辞をPTA会長の平塚康咲さんからいただきました。在校生代表の高橋和希さんが来年度の創立30周年にむけ、先輩から学んだたくさんのことを生かして頑張りたいと送辞を述べると、卒業生代表の佐藤勇磨さんが、向上心を持ち積極的に物事に取り組むことの大切さや、これまでの感謝の言葉など、3年間の思いを答辞で述べました。式が終了し、卒業生は各クラスに分かれて最後のHRをし卒業を喜び合うとともに、別れを惜しんでいました。



卒業生講話

3月11日(火)、大学へ進学した先輩や就職した先輩、今年度の卒業生を招いて、進路に関する貴重な体験談をお聞きました。2年生の片野彩華さんと佐々木柊さんが司会進行し、先輩たちに、前もって出されていた質問に答えてもらいました。在学中の勉強方法や時間の使い方などのアドバイスを聞き、1、2年生は進路志望を達成するため、今日の話を活かして頑張りたいです。



☆ ☆ 各部の成績 ☆ ☆

【美術部】

第70回秋田・南秋地区高校美術連盟展
絵画 連盟賞 武藤 瑞穂

【理科研究部】

齋藤憲三・山崎貞一顕彰会
「サクラの樹勢回復の研究」 銅賞

一般選抜合格発表

3月12日(水)午後4時、一般選抜合格発表が行われました。最終志願倍率は1.33倍の高倍率となり、前庭は30分前にはたくさんの車で埋め尽くされました。発表の時を待つ受検生と保護者の方々の前で、合格者の受検番号を記したボードの白布がはがされると、ひととき高い歓声が上がりました。合格者数人が、さきがけ新報社の取材を受け、翌日の紙面に掲載されました。



県教育委員会から 「インターネットセーフティメールマガジン」について

県教育委員会では、「大人が支える！インターネットセーフティの推進」活動の一環として「子どもたちのインターネット利用について考える研究会」と協力し、インターネットセーフティメールマガジンを発行しています。子どもとネットの問題に関する貴重な情報を提供していますのでぜひ御覧ください。

<http://www.child-safenet.jp/activity/akita/>

奨学金のご紹介

- 〈秋田県育英会〉
保護者が秋田県内に居住している生徒
- 〈男鹿市奨学生〉
保護者が男鹿市内に居住している生徒
- 〈MUFJ・ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金〉
災害救助法適用地域に居住していた両親、または父母のいずれかが、東日本大震災が原因で亡くなられた生徒
- 〈あしなが育英会〉
保護者等が病気や災害(道路における交通事故を除く)、自死(自殺)で亡くなったり、重度後遺障害で働けない家庭の子ども
- 〈交通遺児育英会〉
保護者等が道路における交通事故(踏切・路面電車・自転車事故を含む)で死亡したり、著しい後遺障害で働けない家庭の子女

上記のいずれかに該当し、奨学金を希望するご家庭は、担任を通してご相談下さい。